

第17回 S&P ETFコンファレンス

**iShares**<sup>®</sup>

by BlackRock

**Beyond Beta -**

**アクティブ、デジタルとアウトカムが切り開く  
新時代のETF市場**

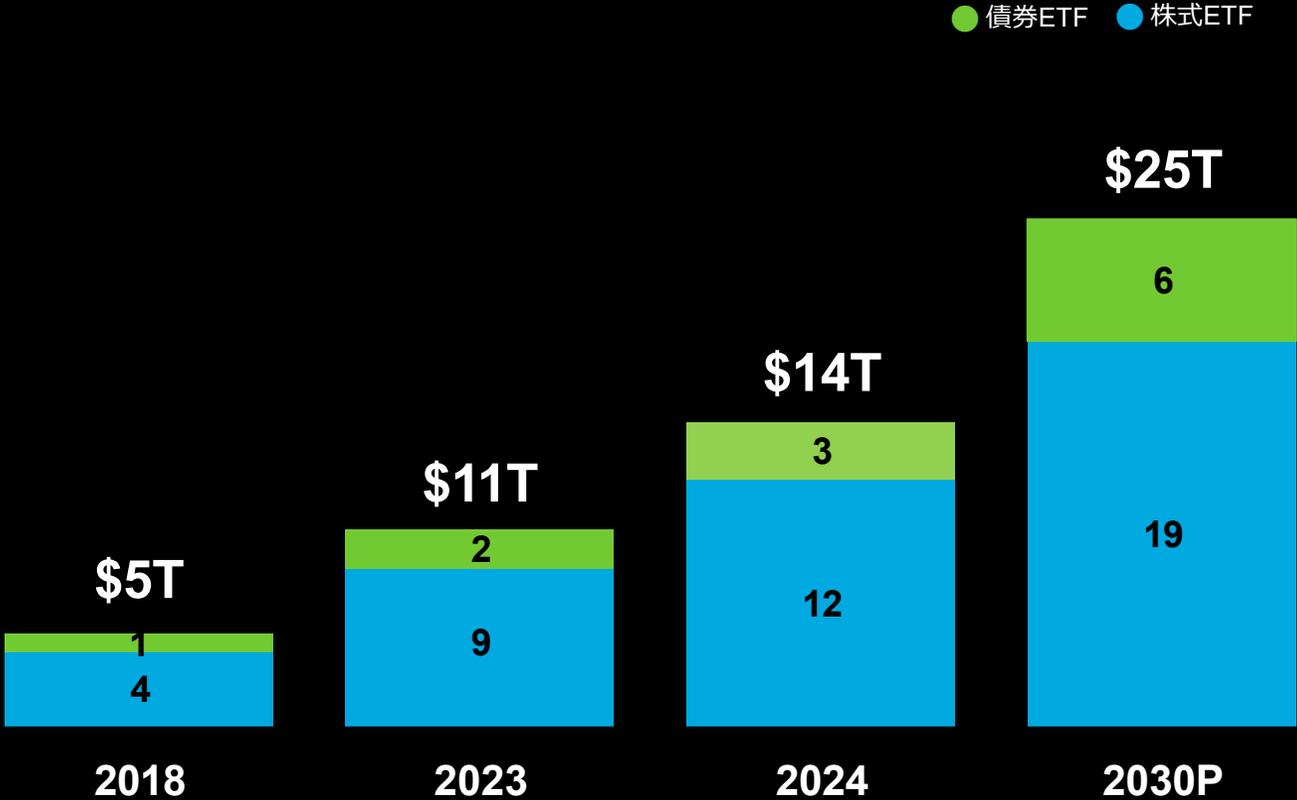
**ニコラス・ピーチ**

ブラックロック マネージング・ディレクター iShares アジア・パシフィック (APAC) 地域責任者

2025年6月3日

# ETFの市場規模は2030年までに25兆米ドルに成長すると予想

ETF残高の成長予想（兆米ドル）



出所：ブラックロック、2023年12月31日現在。2030年のシナリオの試算は独自の調査に基づきます。数値は変更される可能性があります。上記は例示を目的としたものであり、将来の成果を保証するものではありません。

4つの

要因がETFの成長を  
加速させる

01. ETFの再考

02. 債券

03. アクティブとアウトカム

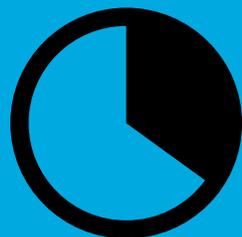
04. デジタル資産

## ETFの再考

# ETFの役割拡大

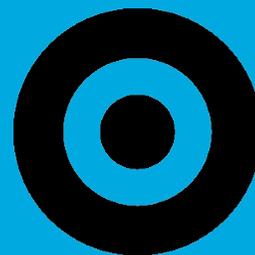
01.

アクティブ運用の補完



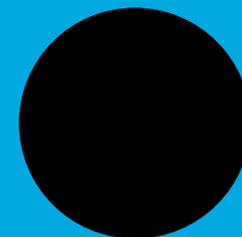
02.

アクティブ運用との  
融合



03.

ポートフォリオ完成度  
の向上



例示を目的としたものです。出所：ブラックロック、2025年3月31日現在。

# 債券

## 債券投資は様子見姿勢からの転換を

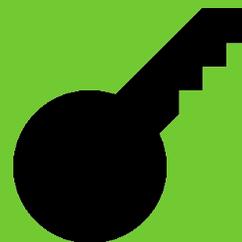
01.

透明性、流動性、  
利便性、効率性



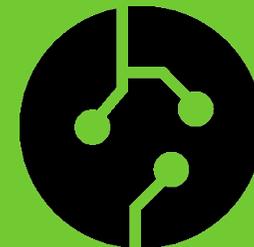
02.

さらに向上した緻密性



03.

債券市場の構造の  
再構築

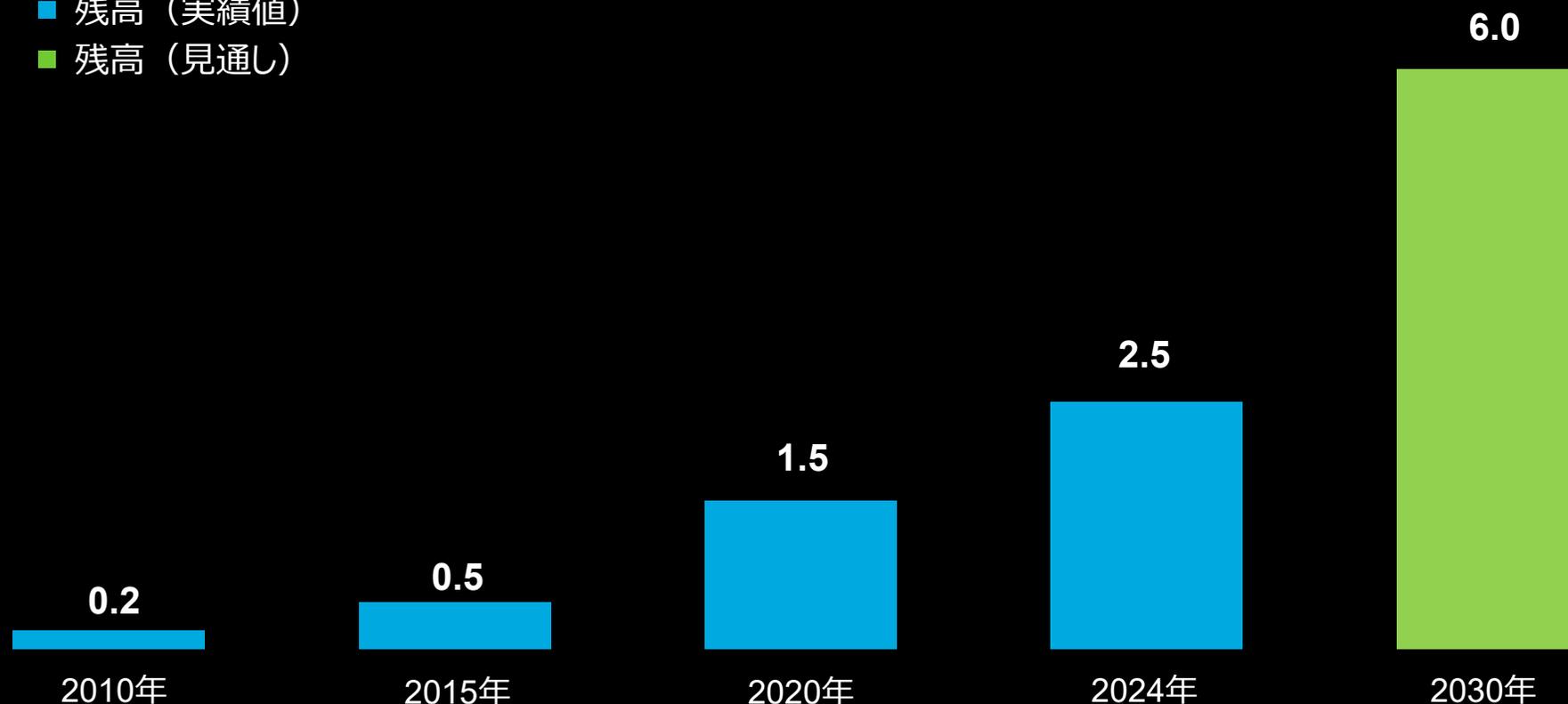


例示を目的としたものです。出所：ブラックロック、2025年3月31日現在。

# 2030年までにグローバルの債券ETF市場は6兆米ドルに拡大する見通し

グローバルでの債券ETFの残高（兆米ドル）

- 残高（実績値）
- 残高（見通し）



出所：ブラックロック、2023年12月31日現在。2030年のシナリオの試算は独自の調査に基づきます。数値は変更される可能性があります。上記は例示を目的としたものであり、将来の成果を保証するものではありません。

# デジタル資産

## アクセスの新時代

01.

新たな資産クラスの出現



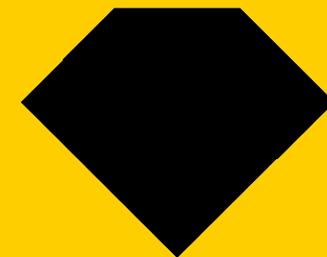
02.

ETFによるアクセス



03.

機関投資家と同等

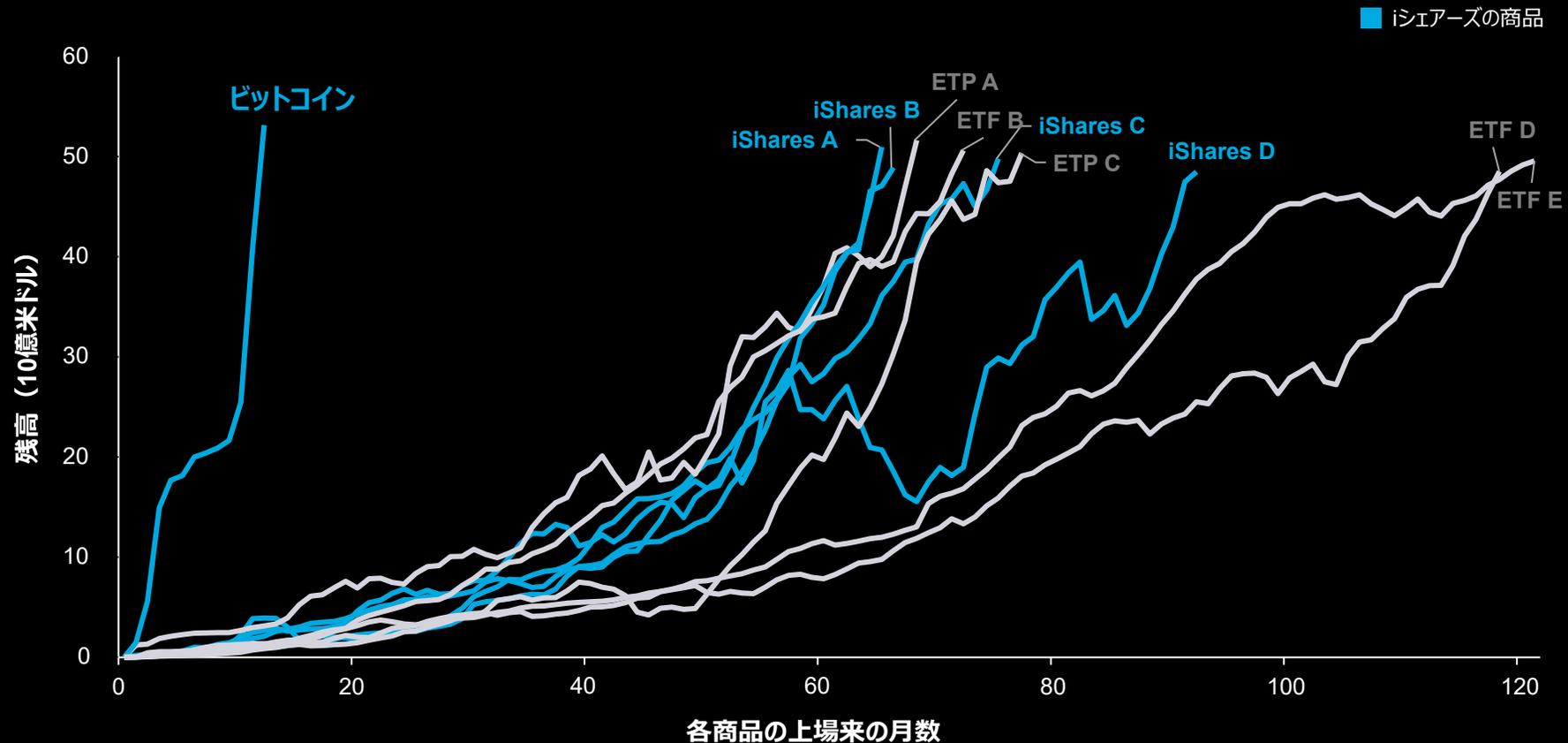


例示を目的としたものです。出所：ブラックロック、2025年3月31日現在。

# ビットコインはETPとして史上最速で残高が500億ドルに

ビットコインETPは、過去10年間に設定されたETPの中で唯一残高が500億米ドルを突破

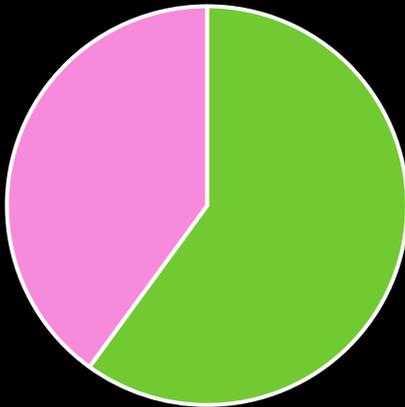
ビットコインETPは、取引開始から1年を待たずに残高が500億米ドルを突破



過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。1. ブラックロック・グローバル・ビジネス・インテリジェンス、2024年12月31日現在。投資目標、リスク、手数料、経費など、各投資商品の類似点と相違点についての理解を深めるため、各商品の目論見書をご覧ください。

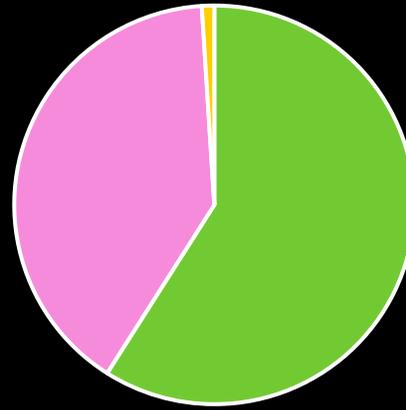
# ビットコインへの小規模な配分がポートフォリオの属性に影響

伝統的な60/40ポートフォリオ<sup>1</sup>



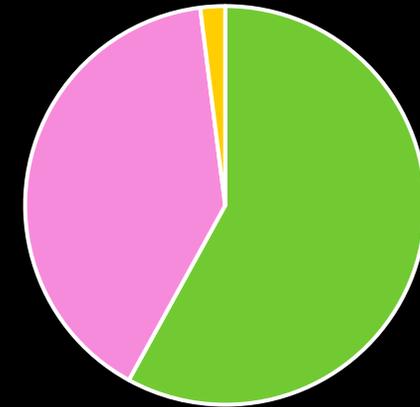
■ 60% MSCI ACWI IMI  
■ 40% BBG米国総合債券

ビットコインに1%配分<sup>1</sup>



■ 59% MSCI ACWI IMI ■ 40% BBG米国総合債券  
■ 1% ビットコイン

ビットコインに2%配分<sup>1</sup>



■ 57% MSCI ACWI IMI ■ 40% BBG米国総合債券  
■ 2% ビットコイン

リターン <sup>2</sup>		
6.20%	7.26%	8.31%
ボラティリティ <sup>2</sup>		
9.98%	10.18	10.45%
シャープ・レシオ <sup>2</sup>		
0.48	0.57	0.65
最大ドローダウン <sup>2</sup>		
-21.31%	-21.57%	-21.84%

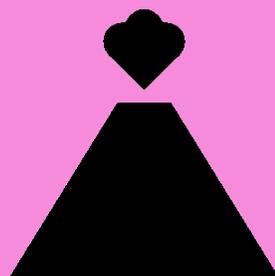
過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。パフォーマンスは2014年10月から2024年10月までの10年間についてのものであり、該当期間について示されている比率での資産配分が維持されたと仮定して分析が行われているため、仮定的なものです。この仮定的パフォーマンスには過去の資産配分の変更は反映されていません。ポートフォリオの維持の観点から、各ポートフォリオは四半期ごとにリバランスされたと仮定しています。仮定的データの結果は後から得られた知見や要因の知識を利用して事後的に適用された基準に基づいており、そのことがパフォーマンスにプラスの影響を与えた可能性があり、実際のポートフォリオのパフォーマンスに影響するリスク要因は反映されていません。指数のリターンは例示のみを目的としており、実際のファンドのパフォーマンスを示すものではありません。指数のパフォーマンスには、運用報酬、取引コスト、経費は反映されていません。指数は運用されておらず、指数に直接投資することはありません。1. 60/40ポートフォリオは、MSCI ACWI Investable Market Index (IMI) への60%の配分とブルームバーグ米国総合債券インデックスへの40%の配分で構成されています。ビットコインに対して仮定的に配分する際は、その投資額のみを株式への配分を減らし、債券への配分は変更していません。出所：Bloomberg, Morningstar, ブラックロックによる計算、2024年12月31日現在。2. すべてのパフォーマンスとリスク指標は年間換算されており、手数料の影響は含まれていません。ボラティリティは、ポートフォリオの月次リターンの平均からの標準偏差で表されます。シャープ・レシオは、ポートフォリオのリターンからメリルリンチ3カ月米国財務省短期証券インデックスで表されるリスクフリー・レートを差し引いたものを、ポートフォリオのリターンの標準偏差で割ったものです。最大ドローダウンは、ポートフォリオの価額がピークを付けてから次のピークを付けるまでの最低額のピーク時の価額からの下落幅を指します。

## アクティブとアウトカム

# 投資の可能性を最大限に引き出す

01.

アクティブ運用による  
差別化



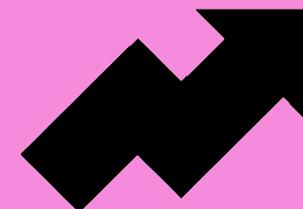
02.

ETFによる効率的な  
パッケージ化



03.

ブラックロックの予測で  
は2030年までに  
4兆米ドルに



例示を目的としたものです。出所：ブラックロック、2025年3月31日現在。

# アクティブETFは業界の純資産流入額に占める割合が拡大



過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

**アウトカムETF**

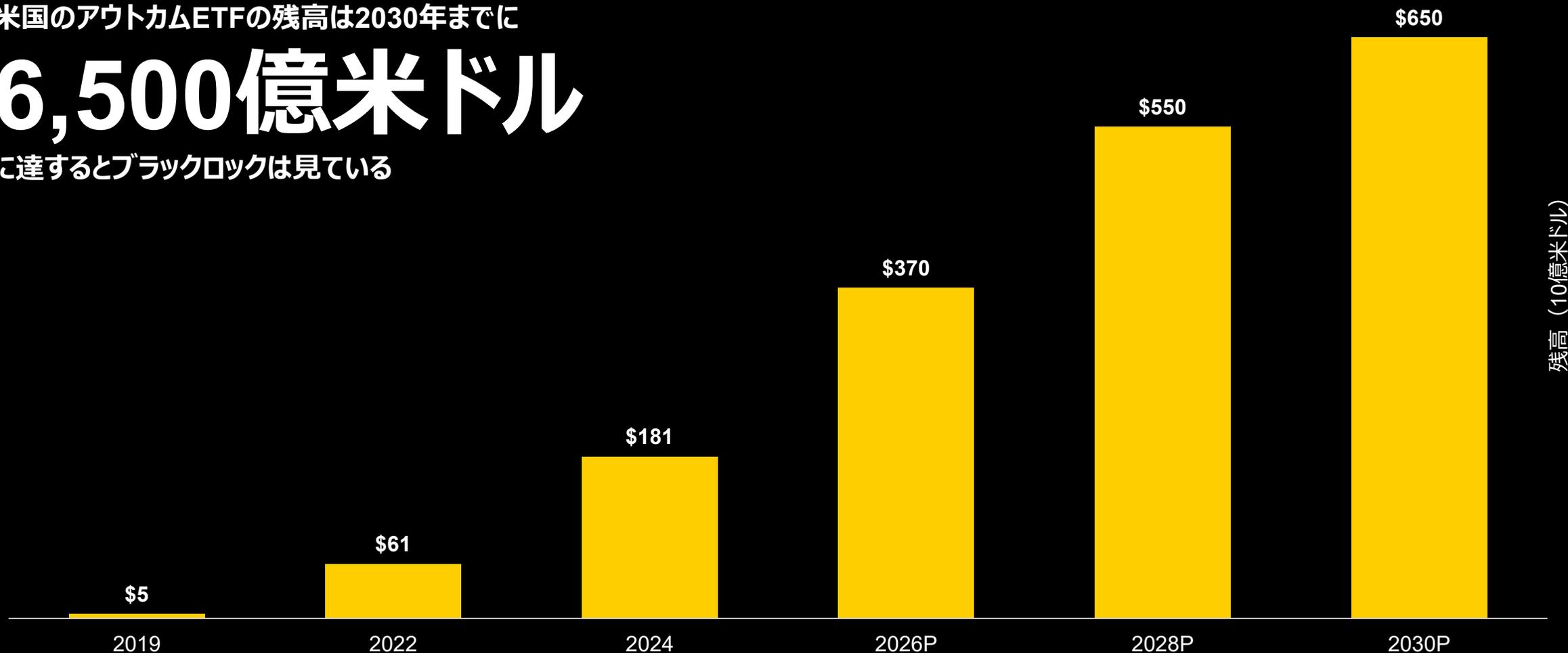
# アウトカムETFは飛躍的に成長

アウトカムETFはオプション・ベースと目標ベースの戦略を実行する簡便な手段を提供

米国のアウトカムETFの残高は2030年までに

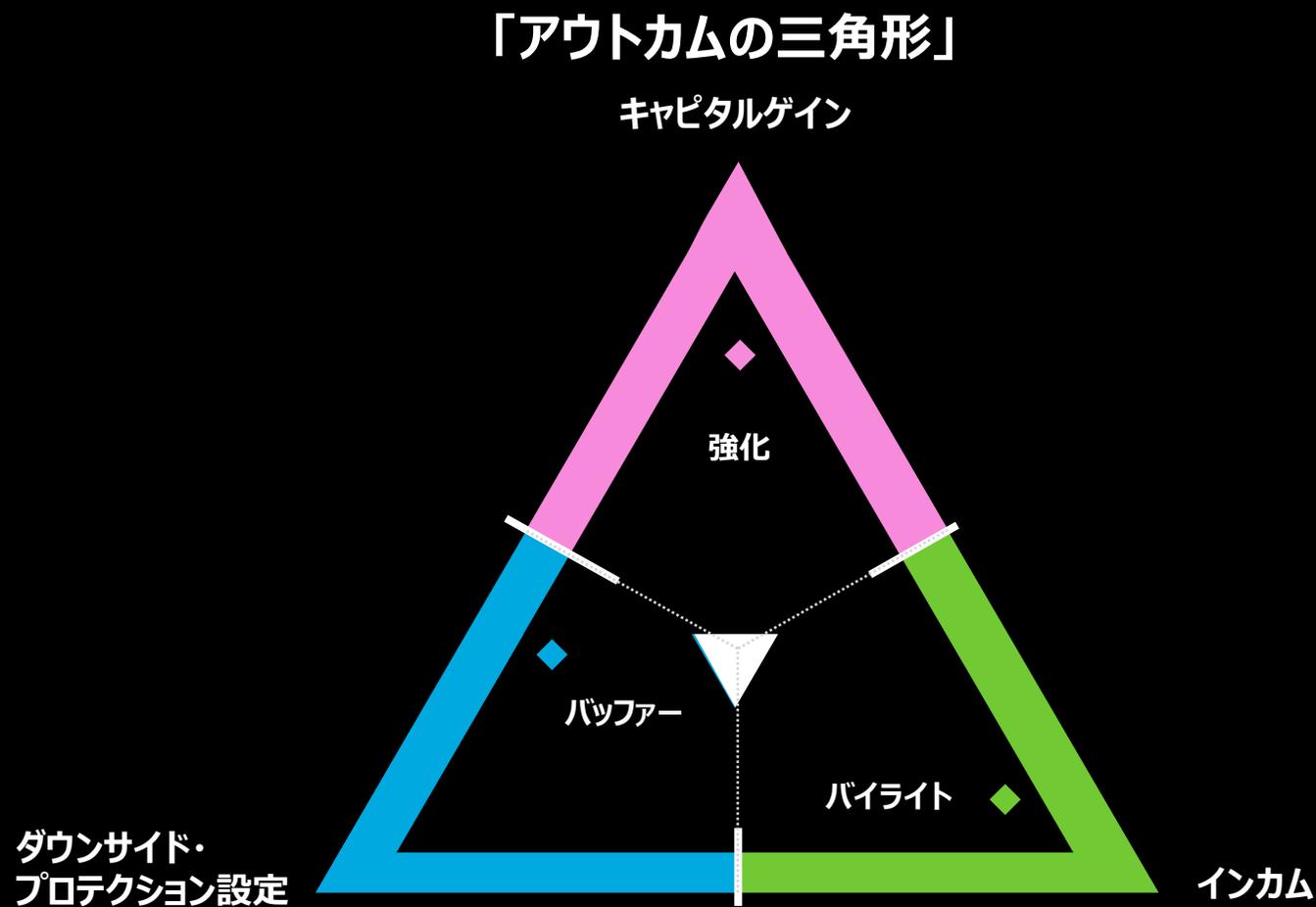
# 6,500億米ドル

に達するとブラックロックは見ている



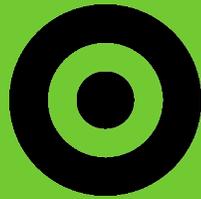
出所：ブラックロック、Morningstar、2024年12月31日現在。推定値にはブラックロック・グローバル・プロダクト・ソリューションズによる独自の調査に基づくシナリオ計算を含みます。業界予測は、オプションのエコシステムと市場構造の継続的な進化によってアウトカムETFの大規模な成長が支えられることを前提としています。上記は例示を目的としており、将来の成果を保証するものではありません。

# アウトカムETFの主な目標：インカム、プロテクション設定、キャピタルゲイン



出所：ブラックロック、Morningstar、2024年12月31日現在。推定値にはブラックロック・グローバル・プロダクト・ソリューションズによる独自の調査に基づくシナリオ計算を含みます。業界予測は、オプションのエコシステムと市場構造の継続的な進化によってアウトカムETFの大規模な成長が支えられることを前提としています。上記は例示を目的としており、将来の成果を保証するものではありません。

# iシェアーズ・アウトカムETF

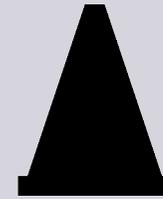


インカム

カバード・コール/  
バイライト



プロテクション設定



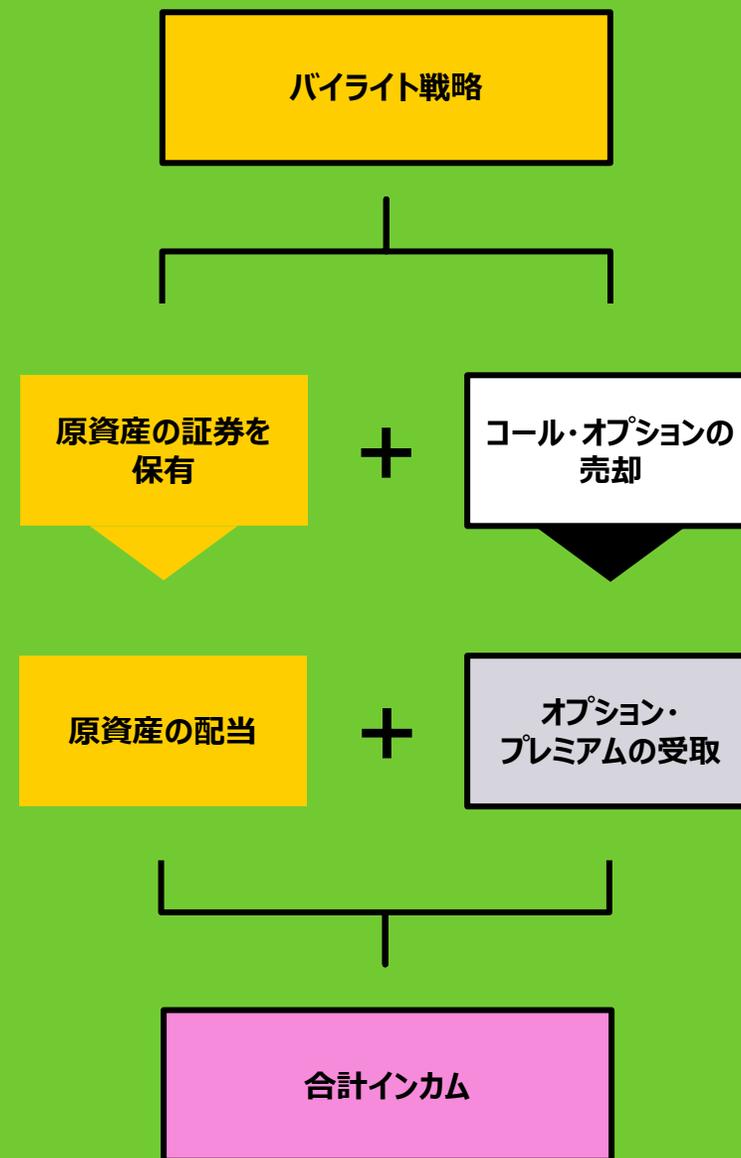
キャピタルゲイン

# iシェアーズ・バイライトETF

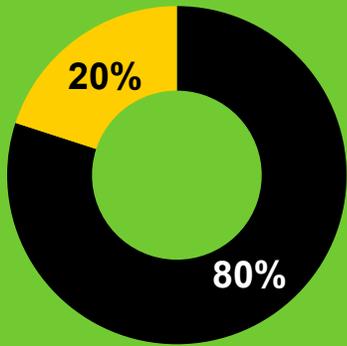
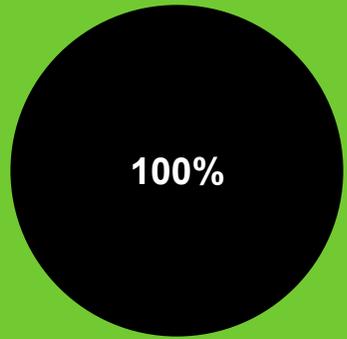
## カバード・コール戦略

目的	原資産（例：S&P 500）のインカムの強化
共通の戦略	カバード・コール／バイライト
オプション使用の効果	キャピタルゲインの上昇の一部またはすべてに上限がかかる代わりにインカムが増加する。
利点	市場のわずかな上昇、横ばい、下落の時期にアウトパフォームする傾向。
留意点	市場の大きな上昇時にアンダーパフォームする傾向。

例示を目的としたものです。記載されている情報は、手数料、税務上の影響、その他の取引コストを考慮しておらず、それが特定の戦略または投資判断の経済的な結果に大きな影響を及ぼす可能性があります。



バイライト戦略の追加で  
S&P500のインカムを強化



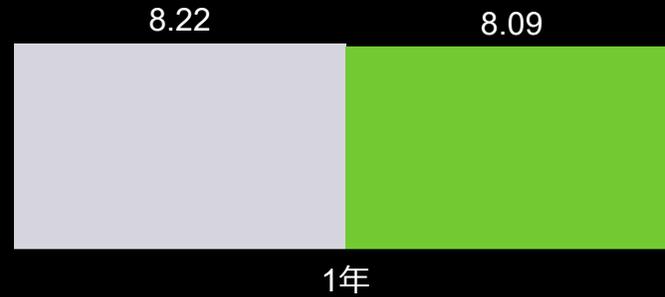
■ S&P 500  
■ S&P 500バイライト

例示を目的としたものです。

# アウトカム：リターン、ボラティリティ、インカムのS&P500との比較

過去12か月間に80+20ポートフォリオはS&P500を大きく上回るインカムを獲得する一方、リスク・リターン・プロファイルはほぼ同じであった。

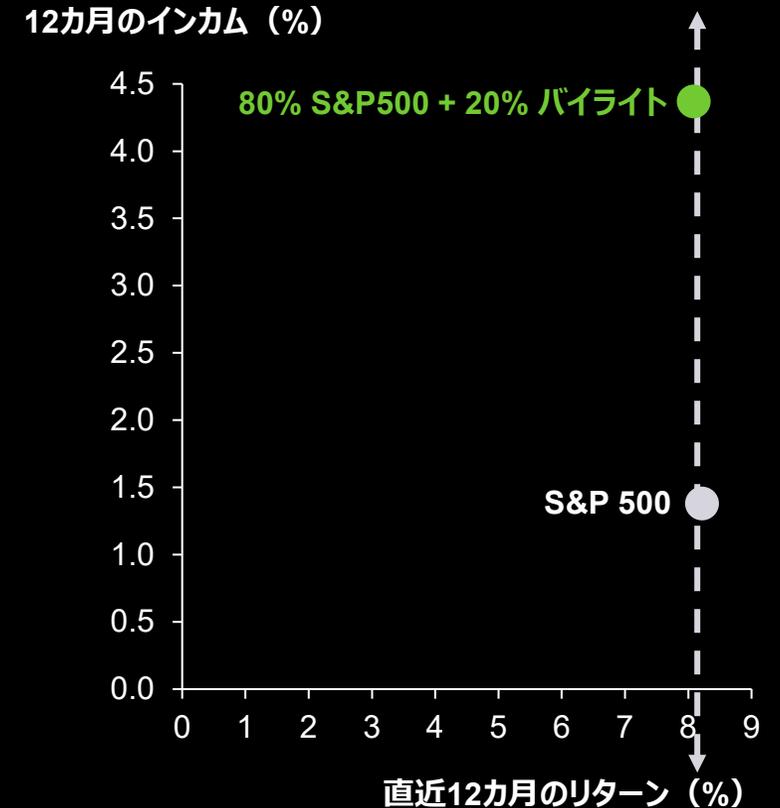
ファンドのリターン（年率、%）



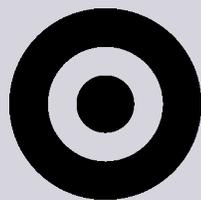
ボラティリティ（年率、%）



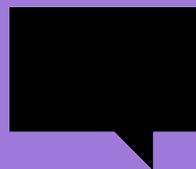
直近12カ月のリターンとインカム



# iシェアーズ・アウトカムETF

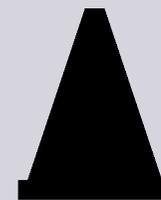


インカム



プロテクション設定

バッファ



キャピタルゲイン

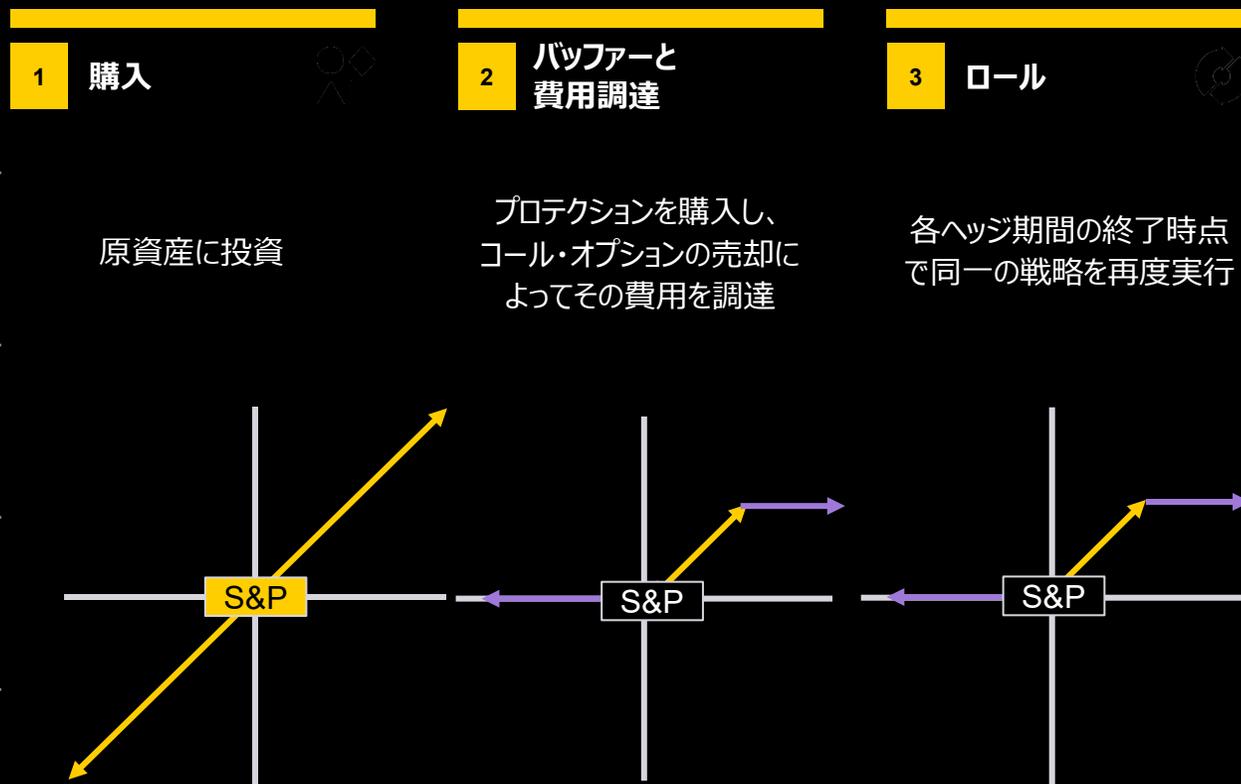
# プロテクション設定：MAXバッファ－ETFの仕組み

ダウンサイドのプロテクション（バッファ）

上限までは市場に追隨して上昇

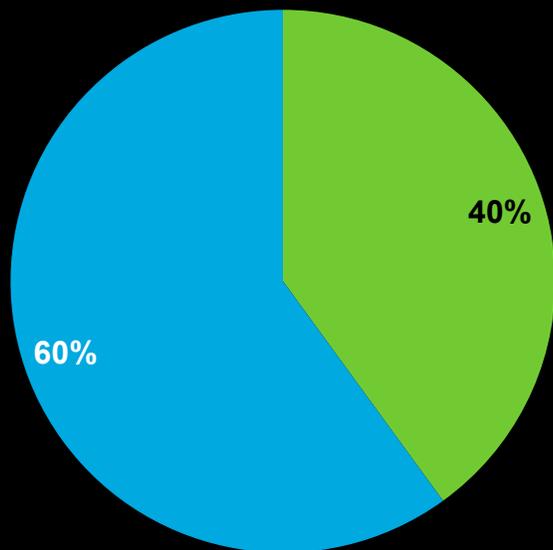
キャッシュの置き換え

目的	アウトカム期間にわたって目標水準のプロテクションを提供
共通の戦略	バッファ
オプション使用の効果	特定の水準のプロテクション（例えば、0から-100%）を確保。また、キャピタルゲインの上限を受け入れることでプロテクションの取得費用を確保。
利点	市場の下落時にアウトパフォームする傾向。
留意点	市場の大きな上昇時にアンダーパフォームする傾向。通常は、原資産のトータル・リターンではなく、価格リターンに追隨。



# バッファーをポートフォリオに組み込む方法

伝統的な60/40ポートフォリオ



■ 債券 ■ 株式

1

## 株式リスクの引き下げ

対象：株式へのエクスポージャー

株式への配分を引き下げてバッファーETFに投資。60/40ポートフォリオのリスク特性は、ボラティリティの低下によって変化している。

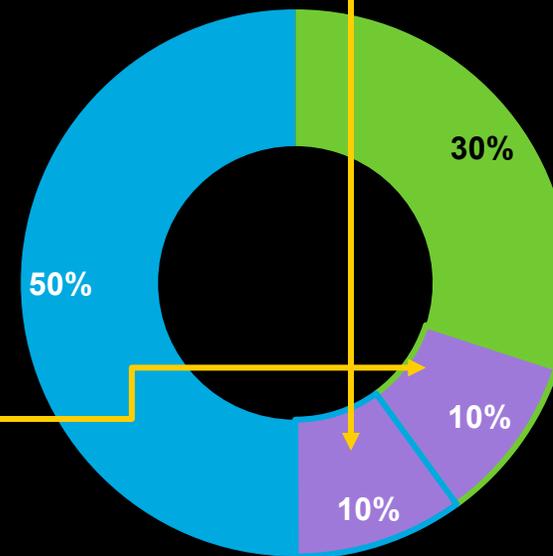
2

## キャッシュの置き換え

対象：短期債／キャッシュへのエクスポージャー

短期債とキャッシュの一部を、株式市場のプラスのパフォーマンスに連動してインカムを得られる代替投資先に置き換える。

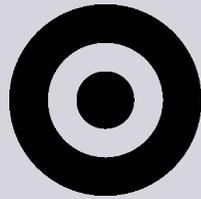
バッファーを利用した  
50/30/20ポートフォリオ



■ 債券  
■ 債券のバッファーへの置き換え  
■ 株式のバッファーへの置き換え  
■ 株式

例示を目的としたものです。記載されている情報は、手数料、税務上の影響、その他の取引コストを考慮しておらず、それが特定の戦略または投資判断の経済的な結果に大きな影響を及ぼす可能性があります。

# iシェアーズ・アウトカムETF



インカム



プロテクション設定



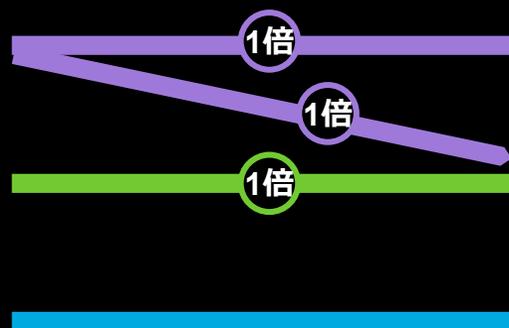
キャピタルゲイン  
強化

# iシェアーズ・アクセレレイティッドETF

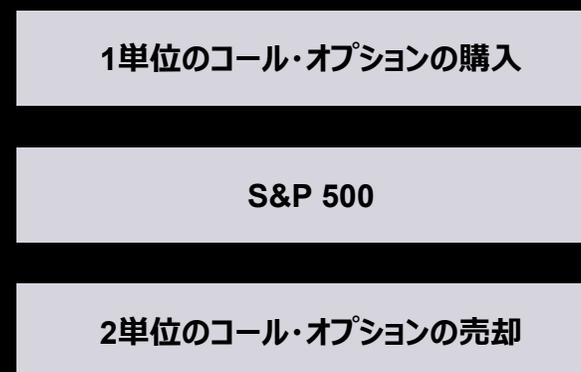
中程度のキャピタルゲインを強化、コア資産配分を補完、差別化されたリターンを追求

目的	一定の範囲でキャピタルゲインを強化
共通の戦略	リターンの強化
オプション使用の効果	上限までの範囲でキャピタルゲインが強化される。
利点	市場の中程度の上昇時にアウトパフォームする傾向。
留意点	市場の大きな上昇時にアンダーパフォームする傾向。通常は、原資産のトータル・リターンではなく、価格リターンに追随。

## 達成目標



## 目標達成の方法



## 重要事項

本資料は、ブラックロックのグループ会社（以下、「ブラックロック」という。）の一つであるブラックロック・インクが情報の提供を目的として作成したものであり、ブラックロック・ジャパン株式会社（以下、「弊社」という。）がS&P ダウ・ジョーンズ・インデックス主催『第17回ETFコンファレンス』用の資料として、本邦の機関投資家の皆さまにご提供するものであり、投資一任契約等の締結等を勧誘するものではありません。また本資料を以って特定の商品のご提供をお約束するものではありません。本資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではなく、また、日本国内の金融商品取引所に上場していないiシェアーズETFについては、金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行なわれておりません。

本資料は各種の信頼できると考えられる情報・データに基づき作成しておりますが、弊社はその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された運用実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。また、本資料に掲載されたブラックロックの意見、見解は、本資料作成日時時点で入手された情報、あるいは予想等をもとに構成されておりますため、今後の経済動向や市場環境等の変化、さらに金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、今後、予告なく変更されることがあります。iシェアーズETFへの投資をご検討される際は、iシェアーズETFの取扱い金融商品取引業者にて上場有価証券等書面および外国証券情報等をご確認の上、ご自身でご判断下さい。

当社の投資運用業者としてご提供可能な運用戦略等の提供を受けられる場合は、原則として、（１）当社との投資一任契約の締結、または、（２）当社が設定・運用を行う投資信託の購入により行われることとなります。ただし、必ずしも、全ての戦略について、投資一任契約および投資信託により提供を行っているわけではありませんので、ご承知おきください。当社が投資一任契約または投資信託によりご提供する戦略は、全て、投資元本が保証されておりません。当社がご提供する戦略毎のリスク、コストについては、投資対象とする金融商品等がそれぞれの戦略によって異なりますので、一律に表示することができません。従いまして実際に当社戦略の提供を受けられる場合には、それぞれの提供形態に沿ってお客様に交付されます契約締結前交付書面、目論見書、投資信託約款及び商品説明書等をよくお読みいただき、その内容をご確認下さい。適格機関投資家のお客様において、投資一任契約の締結によらず当戦略の採用をご検討される場合には、別途弊社営業担当までご連絡下さい。

弊社または弊社のグループ会社が設定・運用するファンドを、投資一任契約に基づき組入れる場合、または、弊社が金融法人のお客様へ勧誘する場合は、当該ファンドを組み入れたいとする誘因が潜在的にあるという理由から弊社または弊社のグループ会社とお客様との間に金融商品取引法上の利益相反のおそれがある取引に該当致します。また、ファンドにより弊社または弊社のグループ会社の自己投資、役職員投資が含まれることがあり、この場合も同様の利益相反の状況が想定されます。弊社は、利益相反のおそれがある旨をこのようにお客様へ開示することが、お客様のご理解・ご判断に資するという点で、適切な対応方法であると考えております。詳細については、弊社ホームページに掲載の利益相反の管理に関する方針をご参照下さい。

iシェアーズETFの価格は、連動を目標とする指数や為替の変動等や、iシェアーズETFの発行者および組入れた投資対象の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により変動します。このため、iシェアーズETFへの投資においては、投資元本を毀損するおそれがあります。iシェアーズETFにおいて生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

iシェアーズETFの売買の際の手数料は取扱い金融商品取引業者によって定められます。iシェアーズETFの売買にあたっては、この手数料の他に、外国金融商品市場等における売買手数料および公租公課その他の賦課金が発生することがあります。（現地法制度等により定められるため記載できません。）iシェアーズETFの売買にあたり、円貨と外貨、または異なる外貨間での交換をする際には、それぞれの取扱い金融商品取引業者で別途定められた手数料が課せられることがあります。なお、iシェアーズETFの運用報酬・管理報酬等については、取扱い金融商品取引業者にてご確認下さい。

## 重要事項

### <著作権について>

本資料の著作権は、ブラックロック・ジャパン株式会社に帰属し、全部又は一部分であってもこれを複製・転用することは社内用、社外用を問わず許諾されていません。

©2025 BlackRock Japan Co., Ltd. All rights reserved. iShares® (iシェアーズ®)およびBlackRock® (ブラックロック®)はブラックロック・インクおよび米国その他の地域におけるその子会社の登録商標です。他のすべての商標、サービスマーク、または登録商標はそれぞれの所有者に帰属します。※本資料で言及されている指数の著作権その他一切の知的財産権は、指数毎の提供会社に帰属します。指数提供会社は、iシェアーズETFのいずれに関しても出資、保証、発行、販売、または販売促進を行うものではなく、またiシェアーズETFへの投資の妥当性についていかなる表明も行いません。ブラックロックは上記の指数提供会社の関連会社ではありません。

## ブラックロック・ジャパン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第375号

加入協会：一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会、日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

ウェブサイト <http://www.blackrock.co.jp>

〒100-8217 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号 丸の内トラストタワー本館 Tel: 03-6703-4110 (ETF事業部)